

柿内賢信記念賞（奨励賞実践賞）2018年度公募要領

- 最終更新日 ()

公益財団法人俱進会 科学技術社会論・柿内賢信記念賞（奨励賞、実践賞）2018年度公募要領（奨励賞・実践賞公募要領PDF版）公益財団法人俱進会では、科学技術社会論・柿内賢信（かきうち よしのぶ）記念賞（奨励賞、実践賞）の公募を下記の要領で行います。ご応募くださいますよう、ご案内を申し上げます。「科学・技術と社会の問題」に関する研究・実践活動を行う個人を幅広く対象としています。（科学技術社会論学会の会員に限定するものではありません。また、国内在住である必要もありませんが、選考にあたっては日本の科学技術社会論分野への貢献が考慮されます。）なお、3年以内に本賞の奨励賞または実践賞を受賞された方（2015年度以降の受賞者）の応募申請はできません。2014年度以前に受賞された方で、新規テーマであれば応募可能です。科学技術社会論・柿内賢信記念賞には特別賞、奨励賞、実践賞の3部門があります。特別賞は奨励賞および実践賞とはまったく独立した賞となっていますので特別賞の公募要領を参照ください。奨励賞および実践賞については、希望する1部門を選択して1点のみ応募してください。複数部門への応募、あるいは1部門への複数応募は無効になります。なお、内容に応じて、選考委員会の判断により審査部門を変更することがあります。奨励賞……今後の発展が期待される研究を行う個人に授与します。実践賞……実践活動（科学技術社会論の社会応用、または社会実践を通じた科学技術社会論の研究）を行う個人に授与します。受賞者には研究助成金（原則として1件につき30万円から50万円）を授与します。本年度の採択件数は奨励賞1件、実践賞1件を予定しています。授賞式は科学技術社会論学会年次研究大会で行います。本年度の授賞式は2018年12月8日（土）に成城大学で行う予定です。研究助成金は、研究用資材・用品の購入、研究図書の購入、国内外の会議等への出席、補助者等への謝金など、個人の研究そのものを使用するものとします。助成金受領者の人件費には使用できません。研究助成金は個人に送られますが、希望によって勤務先などに送金することも可能です。選考は科学技術社会論学会が委託を受け、選考委員会を設置して行います。採択された方には柿内賢信記念賞事務局（科学技術社会論学会事務局が兼務）からその旨を通知します。選考委員会が公式に発表する以外には選考の詳細は一切開示しません。選考委員名は授賞決定後に公開されます。この研究助成金による研究成果をしかるべき学会で発表していただきます。研究成果を公表する際には、本賞の研究助成金による成果であることを明記してください。また、研究成果をまとめた報告書を提出していただけます。応募用紙（研究計画書）は下記のURL（科学技術社会論学会ウェブサイト）からダウンロードできます（公益財団法人俱進会のウェブサイトにも掲載します）。ウェブサイトからのダウンロードが困難な方は、柿内賢信記念賞事務局にお申し出いただければお送りします。応募書類は柿内賢信記念賞事務局に書留にてお送りください。応募用紙（研究計画書）作成要領のダウンロード応募の締め切りは2018年6月30日（土）、ただし、当日消印有効です。お問い合わせは、柿内賢信記念賞事務局にお問い合わせいたします。（応募書類送付先・問い合わせ先）〒162-0801 東京都新宿区山吹町358-5(株)国際文献社内 科学技術社会論学会 柿内賢信記念賞事務局電話： 03-5937-0317 Fax： 03-3368-2822問い合わせフォーム：http://jssts.jp/component/option,com_contact/Itemid,3/ 主催：公益財団法人俱進会〒160-0017 東京都新宿区左門町9番地 五盛ビル301号<http://www.gushinkai.com/>